

働く女性Real Vol.1
『“パート”のいまとこれから』
調査レポート

2016.02

リビング暮らしHOW研究所

パートで働く女性の約7割が『いま』の仕事に満足

- 7割が今の仕事の内容や待遇に満足
- 一方、不満を感じる人の不満の内容は、「給料が安い」「待遇が上がらない」「職場の人間関係」（複数回答）
- より収入を増やす方法は「働く時間を増やす」が最も多く、24%。

人手不足！ 全体の37%が忙しくなってきた中、時給が上がった人はわずかに2割

- ここ1・2年で時給のアップを実感しているのは全体の2割にすぎない。
- 業種で見ると、時給が上がった人が多いのが「製造」（36%）、「飲食・フードの接客」（29%）、「物流・配送・軽作業」（26%）
- 「忙しくなっている」と感じる人は、全体の37%。職種では「保育士・幼稚園教諭」（64%）、「教育」（47%）、「医療・介護・福祉」（45%）で変化が顕著。

10年後は「ステップアップ」より「今の職場」「同じ仕事」。根強い現状維持指向

- 10年後も自分が仕事をしていると思う人は、53%と半数以上。
- 10年後の職場や仕事内容への希望を聞いたところ、「今の職場で同じ仕事を」という回答が最も多く31%。「ステップアップしたい」「よりゆとりを持って」を足すと、10年後も「同じ職場で働く」を希望する人は53%にのぼる。
- 職場に関わらず「同じ仕事をしたい」人は34%。「ステップアップしたい人」は23%。年齢が上がるにつれ現状維持の意向は強まる。

19%の勤め先が社会保険の適用範囲拡大に該当 ただし半数は「元々106万円以下で関係なし」

- 「103万円の壁」「130万円の壁」を意識して働いている人は68%。
- 昨年秋から始まった社会保険の適用範囲の拡大（130万円の壁が、大企業は106万円に）についての認知度は27%。
- 勤め先がこれに該当した人は全体の19%だが、うち半数はもともと106万円以内で働いていたため、影響なし。影響があった人のうち社保料を払い始めた人は約2割。社保料を払わないよう仕事を減らした人も15%いた。
- 今は該当していないが、もし自分の職場に「106万円の壁」が適用されたら、という質問には、34%が「働く時間を減らす」、19%が「もっと働く」と回答。

「103万円の壁」が150万円に上がっても、働き方は「現状維持」が55%を占める

- 今国会に提出されている配偶者控除等の税制改革（「103万円の壁」が150万円に）についての認知度は57%。
- この改革に「賛成」という人は50%。「反対」は6%と少ないが、「どちらともいえない」が44%もいて、「主人の会社からの配偶者手当が103万以内（なので収入を増やせない）」「社会保険も同時に上がらないと働く時間は伸びない」などの意見があった。
- この改革がスタートしたら、働き方を変えるか？という質問に対し、最も多かったのは、「今の勤務時間などがちょうどいいので、変えるつもりはない」35%で、全体では55%が現状維持を指向。
- 130万円まで収入を増やしたい人は21%、150万円までという人は18%で、約4割がもっと働きたいと回答した。

【実施日時】 1月31日（火）～2月5日（日）
リビング新聞公式サイト「リビングWeb」でのアンケート
【調査対象】 パートで働いている女性 有効回答数 / 423

【設問】

Q1.あなたは月にだいたい何時間働いていますが？（月によって差がある場合はだいたいの平均で）

Q2.あなたの給与体系は？

Q3.あなたの今年の年収はだいたいいくらですか？

Q4.あなたの職種は？

Q5.あなたの仕事の内容を簡単に教えてください

Q6.今の仕事はどうやって探しましたか？

Q7.新聞・チラシ、専門Webサイト、専門雑誌と回答した方は、わかる範囲で媒体名を教えてください

Q8.あなたは今の仕事の内容・待遇に満足していますか？

Q9.少し不満、不満と答えた人に。どんな点が不満ですか？（複数回答）

Q10.あなたは今の労働時間に満足していますか？

Q11.少し不満、不満と答えた人に。どんな点が不満ですか？

Q12.あなたは今の年収に満足していますか？

Q13.少し不満、不満と答えた人に。年収を増やすためにはどうすればいいと思いますか？ あなたの考えていることに近いものを選択してください。

Q14.今は働き手がとても不足しているといわれていますが、あなたの実感として、ここ1、2年で時給や待遇は上がってきましたか？

Q15.今は働き手がとても不足しているといわれていますが、あなたの実感として、ここ1、2年で仕事は忙しくなってきましたか？

Q16.あなたは、10年後も仕事をしていると思いますか？

Q17.10年後にも仕事をしていると思う人へ。どこでどんなふう働きたいですか？ あなたの希望に近いものを1つ選んでください

Q18.今の職場でよりステップアップしたい、またはよりゆとりを持って働きたいと答えた人へ。10年後にはどんな働き方・条件ならいいと思いますか？

Q19.別の職場で働きたいと考えている人へ。10年後はどんな仕事や職場だいいと思いますか？

Q20.今とは違う職場で違う仕事したいと答えた人へ。10年後にはどんな仕事・どんな働き方をしたいですか？

Q21.あなたは現在、いわゆる「103万円の壁」「130万円の壁」を超えないように意識して働いていますか？

Q22.いわゆる「103万円の壁」「130万円の壁」について知っている・理解していることを下記から選んでください。（複数回答）

Q23.昨年秋に大手企業で一定の条件を満たすパートの、社会保険への加入基準が年収130万円から106万円に下がりました。あなたの勤め先はこの変更に応じましたか？

Q24.該当したと答えた方はなにか影響がありましたか？それによって働き方を変えましたか？下記から近いものを選んでください。

Q25.勤務先の規模や労働時間などが106万円の壁の条件に該当しなかった方へ。今後、この拡大は、中小企業で働くパートにも広がっていくと考えられています。もし130万円の壁が106万円まで下がり健康保険料や年金保険料を払うことになったら、あなたはどうしますか？

Q26.今の国会でいわゆる「103万円の壁」を「150万円」まで引き上げる案が検討されています。これが成立した場合、所得税を払わず、配偶者控除が適用されたままで年収150万円まで働くことができます。このことについてあなたはどのように思いますか？

Q27.Q26を選んだ理由を教えてください

Q28.現在103万円の範囲で働いている方にお聞きます。上限が150万円まで引き上げられたら、あなたはどのように思いますか？

Q29.この案では夫の年収が1170万円以上になると、妻の年収とは関係なく段階的に配偶者控除の額が小さくなり、1220万円以上でなくなることも盛り込まれています。これについて、あなたはどのように思いますか？

Q30.Q29を選んだ理由を教えてください

Q31.パートという働き方・呼称に対するあなたの印象はプラス？マイナス？

Q32.パートという働き方・呼称に対してあなたが感じるイメージに近いものすべてを下記から選択してください（複数回答）

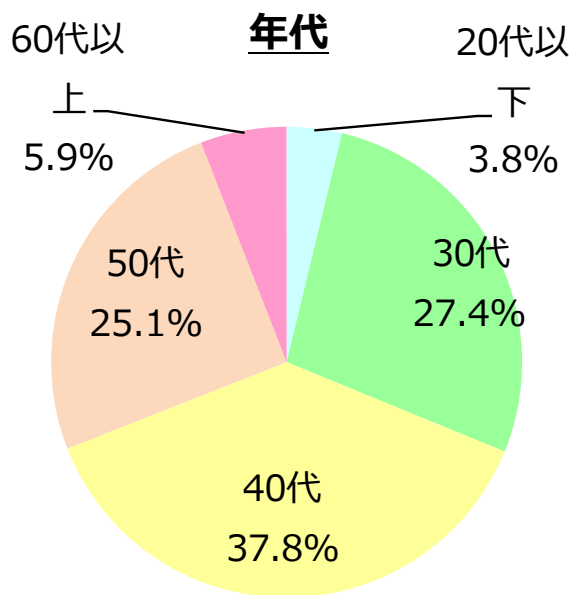
Q33.「業務委託」とは、企業に雇用されるのではなく、どんな仕事をいくらで、どのように遂行・完了させるか等、内容ごとに契約を結んで働く働き方です。業務委託という働き方・呼称に対するあなたの印象はプラス？マイナス？

Q34.業務委託という働き方・呼称に対してあなたが感じるイメージに近いものすべてを下記から選択してください（複数回答）

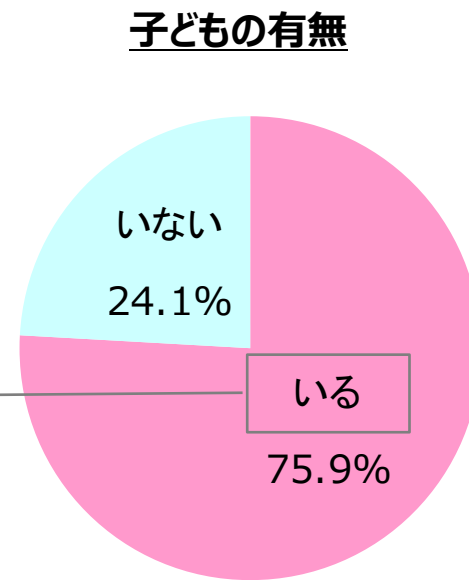
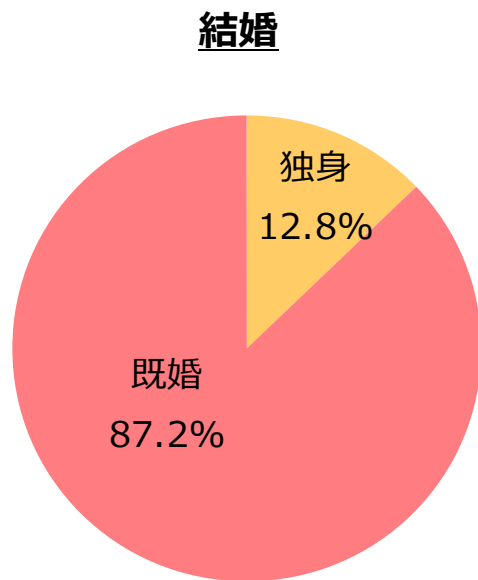
Q35.フリーランスという働き方・呼称に対するあなたの印象はプラス？マイナス？

フリーランスという働き方・呼称に対してあなたが感じるイメージに近いものすべてを下記から選択してください（複数回答）

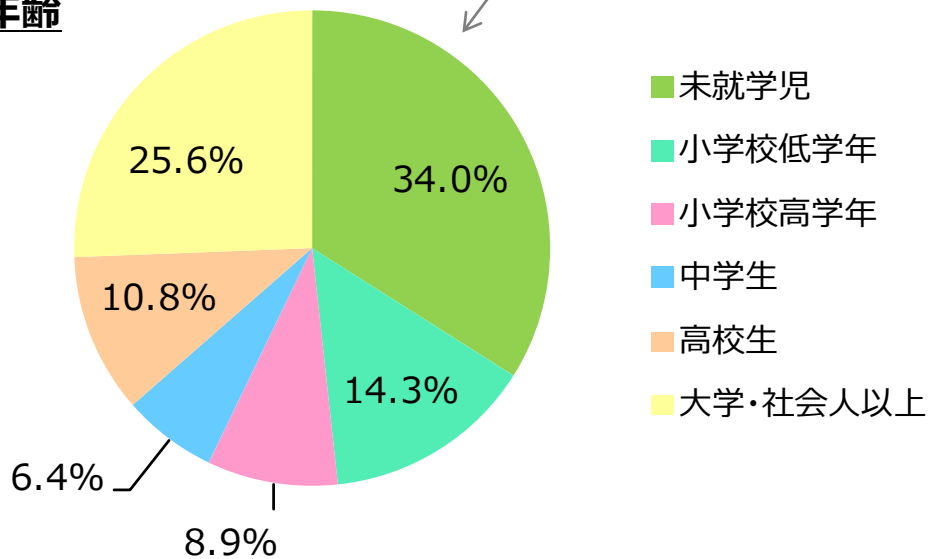
Q37.アンケートなどに答える際、あなたは職業欄にどう記入しますか？もっともよく記入するものを一つ選んでください



平均年齢 44.64歳

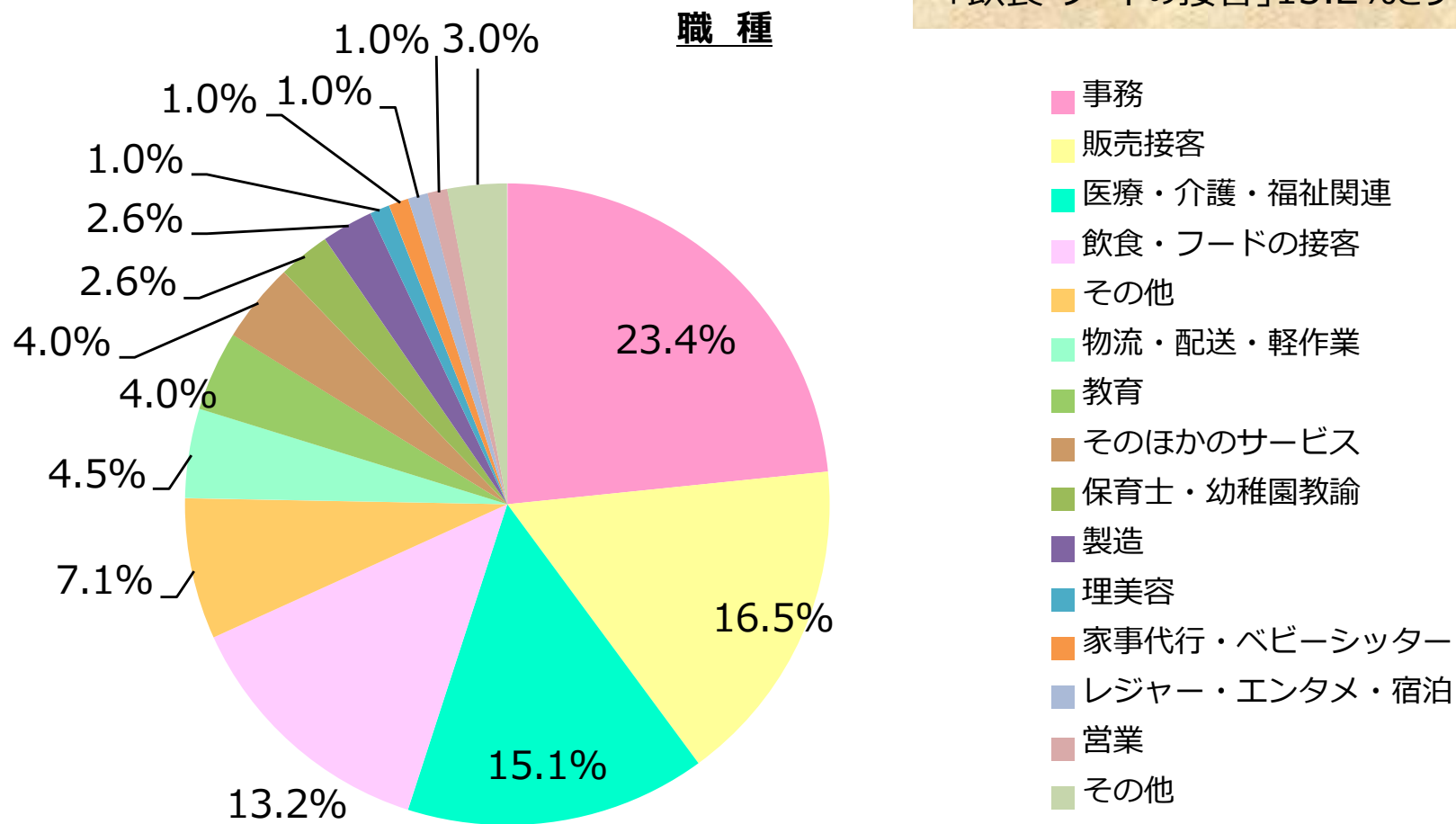


末子年齢

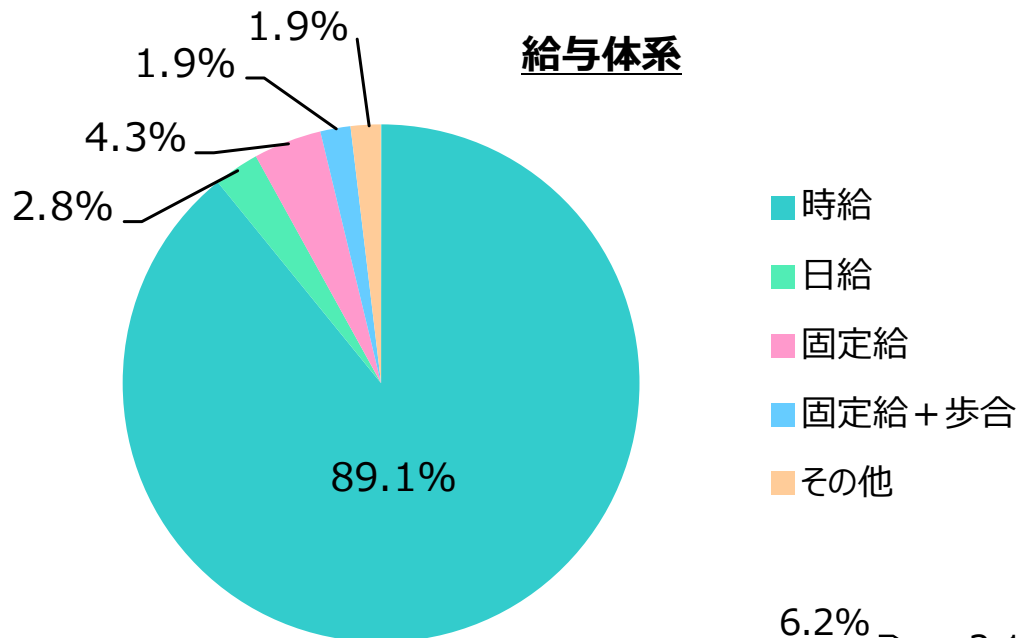


n=203

職種で最も多いのは「事務」で23.4%
 2位以降は「販売接客」で16.5%
 「医療・介護・福祉関連」15.1%
 「飲食・フードの接客」13.2%とサービス業が続く



給与体系

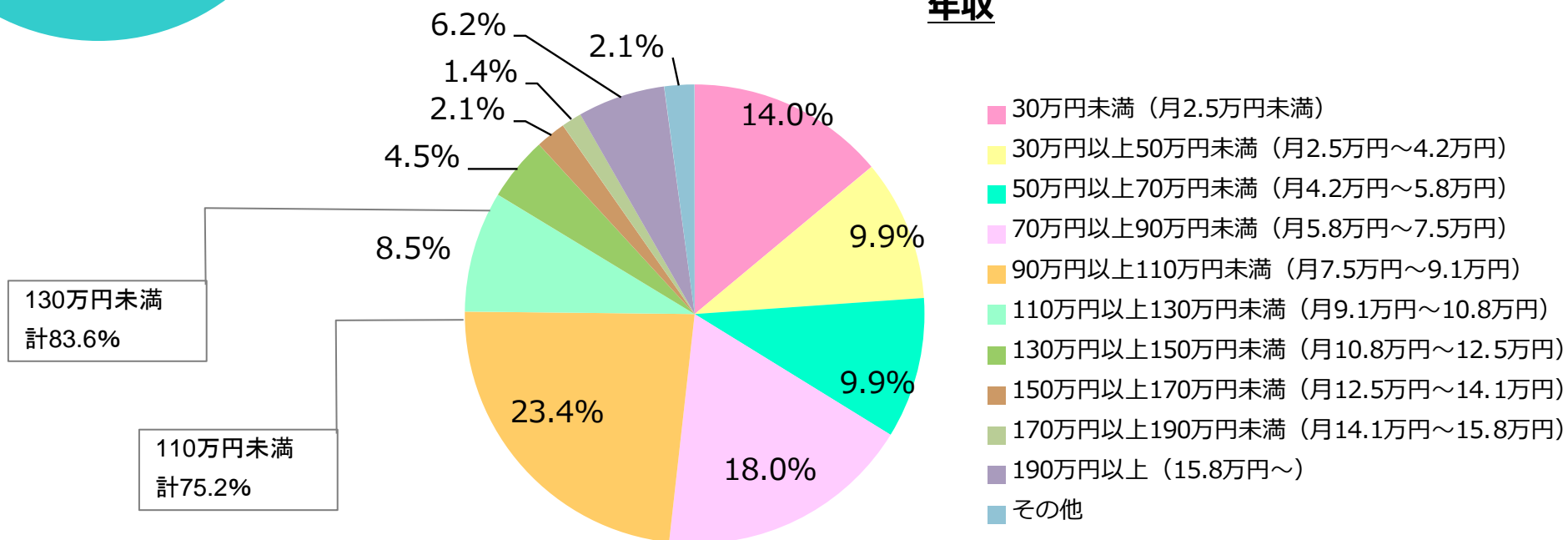


パートで働く女性の約9割が時間給で働いている。

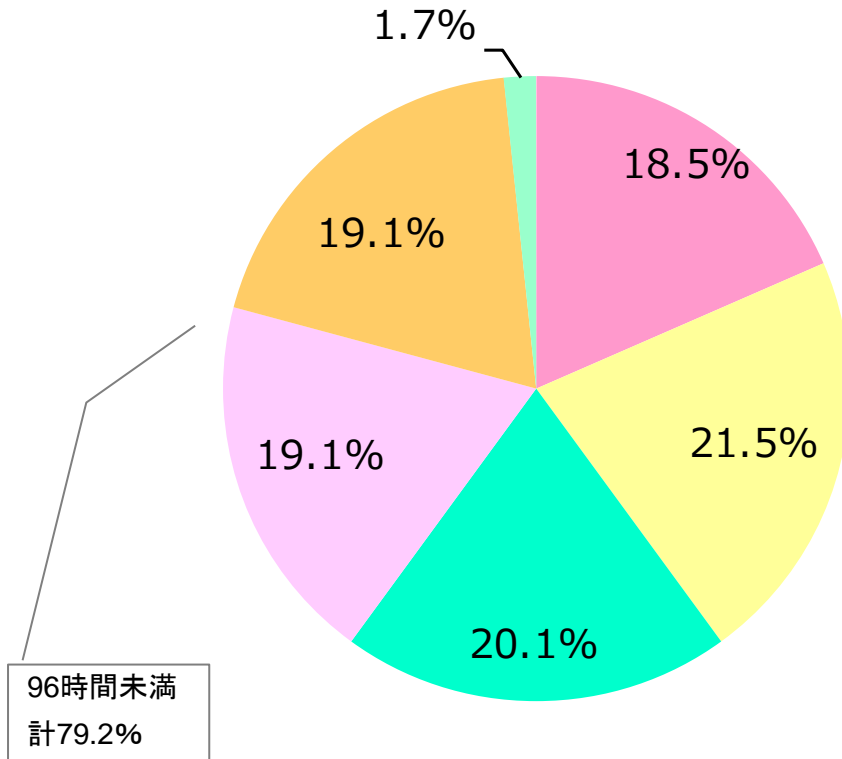
75.2%が103万円の壁以内に相当する年収「110万円以下」で働いている。「130万円以下」になると全体の83.6%を占める。

内訳をみると、もっとも多いのが「90万円以上110万円未満（23.4%）」で、「103万円の壁」を超えないように注意を払っていることが推測される。

年収



平均的な労働時間(月)

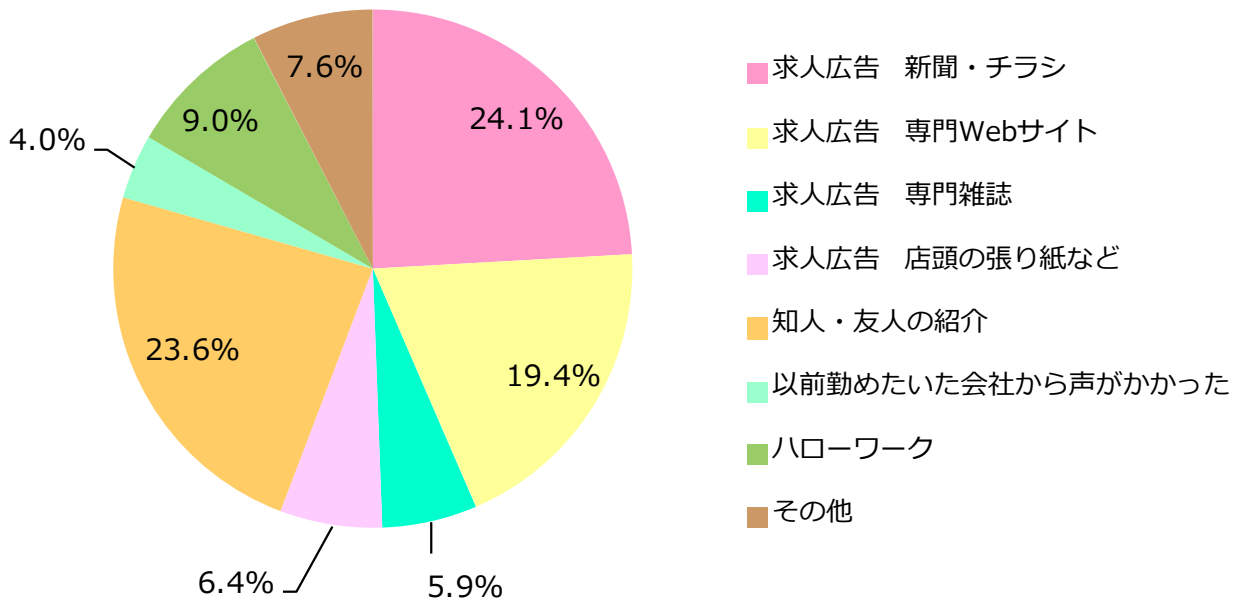


約8割が96時間未満で働いている。
 ※仮に時給を900円とすると時給900円×月間96時間×12カ月 = 103万6800円

ただし24時間単位で聞いたところ、それぞれが2割前後という構成になっており、働く時間の幅は広い。

- 24時間未満 (目安: 6時間×週1回×4週まで)
- 24時間以上48時間未満 (目安: ~6時間×週2回×4週)
- 48時間以上72時間未満 (目安: ~6時間×週3回×4週)
- 72時間以上96時間未満 (目安: ~6時間×週4回×4週)
- 96時間以上 (目安: 6時間×週5回×4週~)
- その他

今の仕事を見つけた方法



パートで働く女性が仕事を見つけた方法としてもっとも多かったのは、「新聞・チラシの求人広告(24.1%)」。

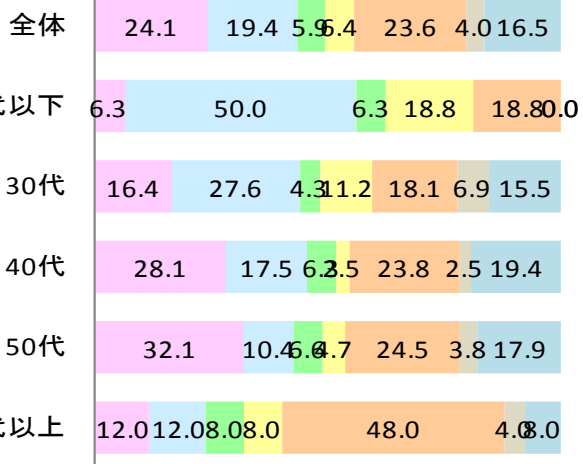
2位は「知人・友人の紹介(23.6%)」。「求人専門のWebサイト(19.4%)」は3位。

ただし年代別にみると、30代は「専門サイト」がもっとも多く27.6%。年代が上がるにつれ、サイトが減り、新聞・チラシ、紹介が増加する。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

年代別

- 求人広告 新聞・チラシ
- 求人広告 専門Webサイト
- 求人広告 専門雑誌
- 求人広告 店頭での張り紙など
- 知人・友人の紹介
- 以前勤めたい会社から声がかかった
- その他 (ハローワーク含む)



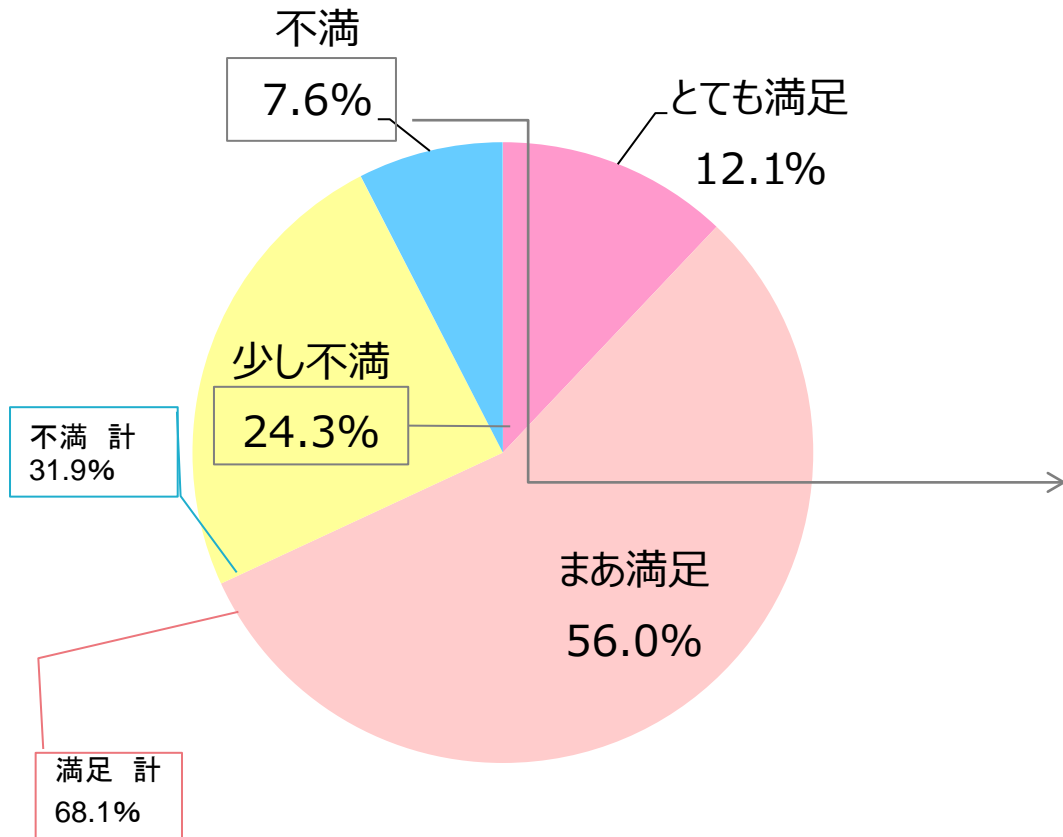
今の仕事を見つけた媒体の名称

求人広告 新聞・チラシの名称	
折り込みチラシ (固有名詞なし)	21
アイデム	14
朝日新聞	13
読売新聞	12
地方紙	10
タウンワーク	9
産経新聞	3
毎日新聞	2
そのほか (各1)	15
総計	99

仕事を見つけたサイト名

タウンワーク	16
ハローワーク	7
マイナビ	5
indeed	4
アイデム	4
リクナビ	4
an	3
バイトル	3
フロムエー	3
リクルート	3
しゅふjob	2
そのほか (各1票)	20
総計	74

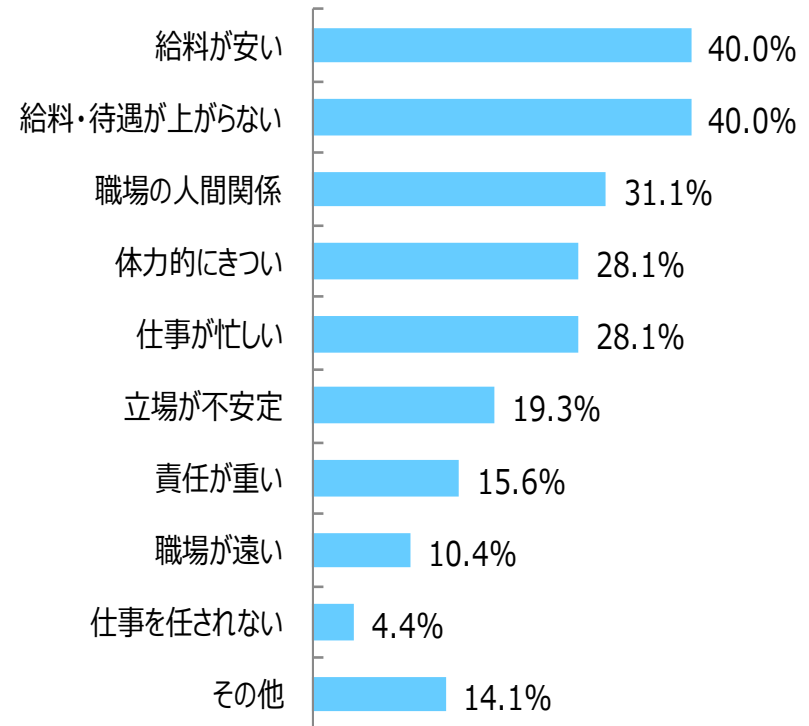
仕事の内容や待遇について



今の仕事に対して満足（とても満足+まあ満足）を感じている人は、全体の7割弱。

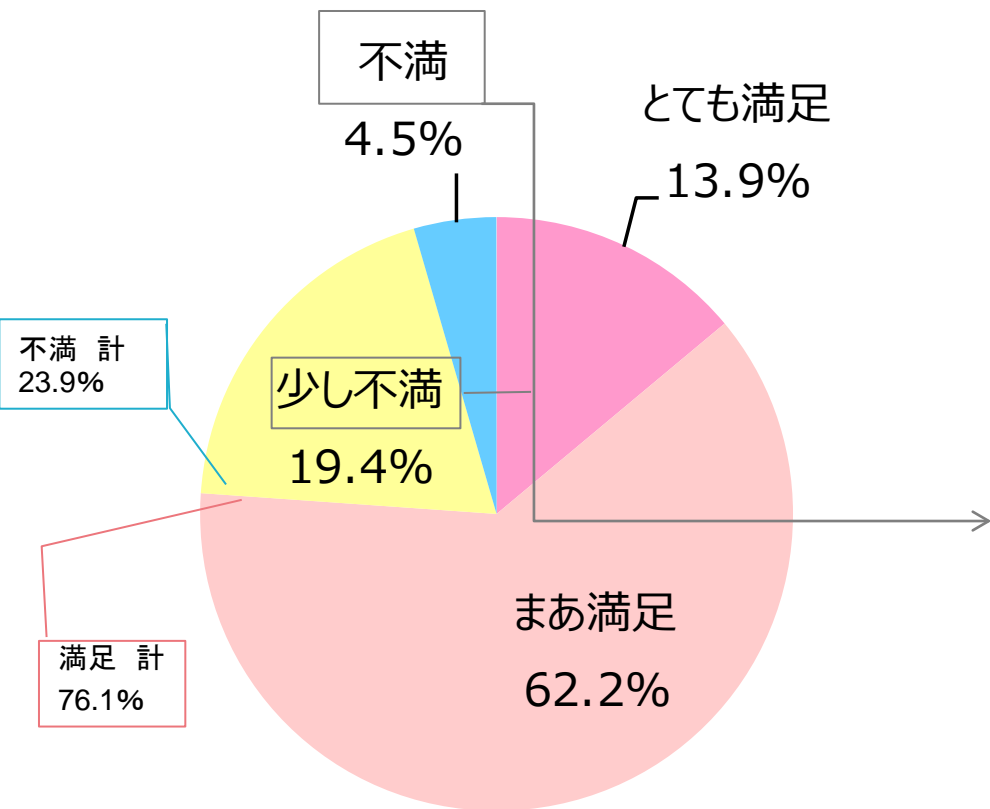
一方、不満（少し不満・不満）を感じている人の不満の内容は、「給料が安い」「待遇が上がらない」という声が共に40.0%と多く、次に「職場の人間関係(31.1%)」が挙げた（複数回答）。

不満の理由 複数回答



n=135

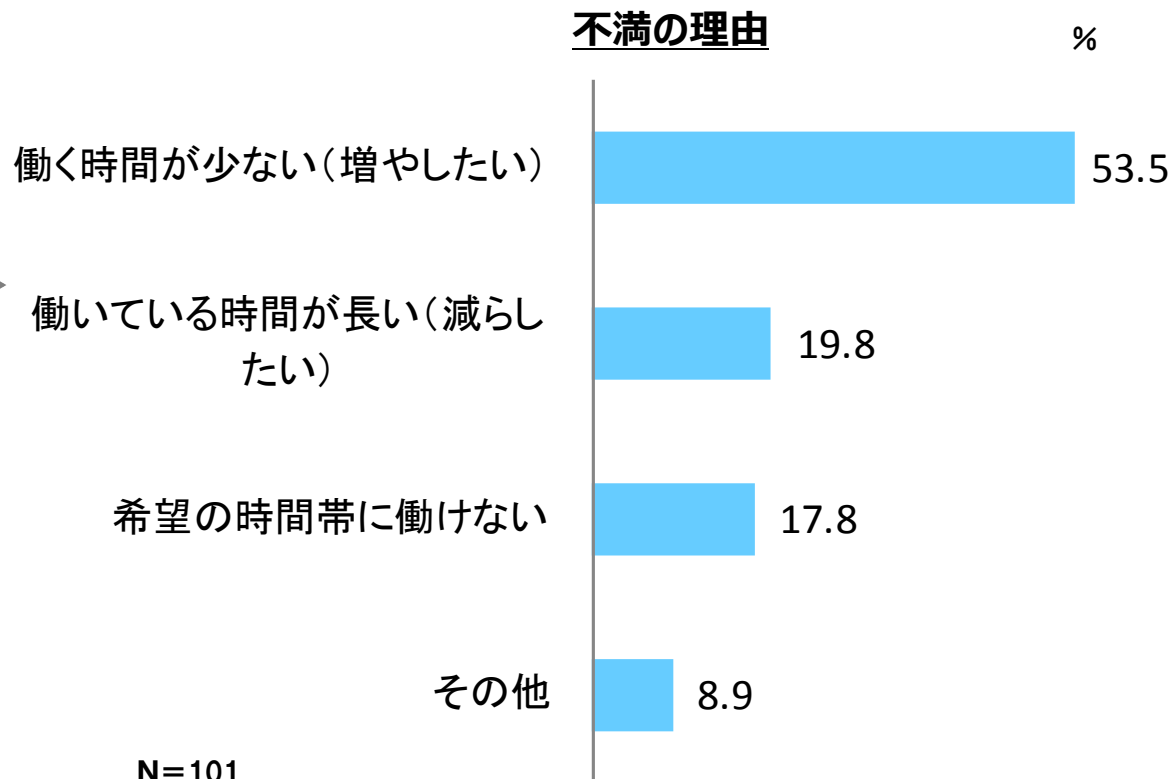
働く時間についての満足度



働く時間に関する満足度はさらに高く、76.1%が「とても満足」「まあ満足」と回答している。

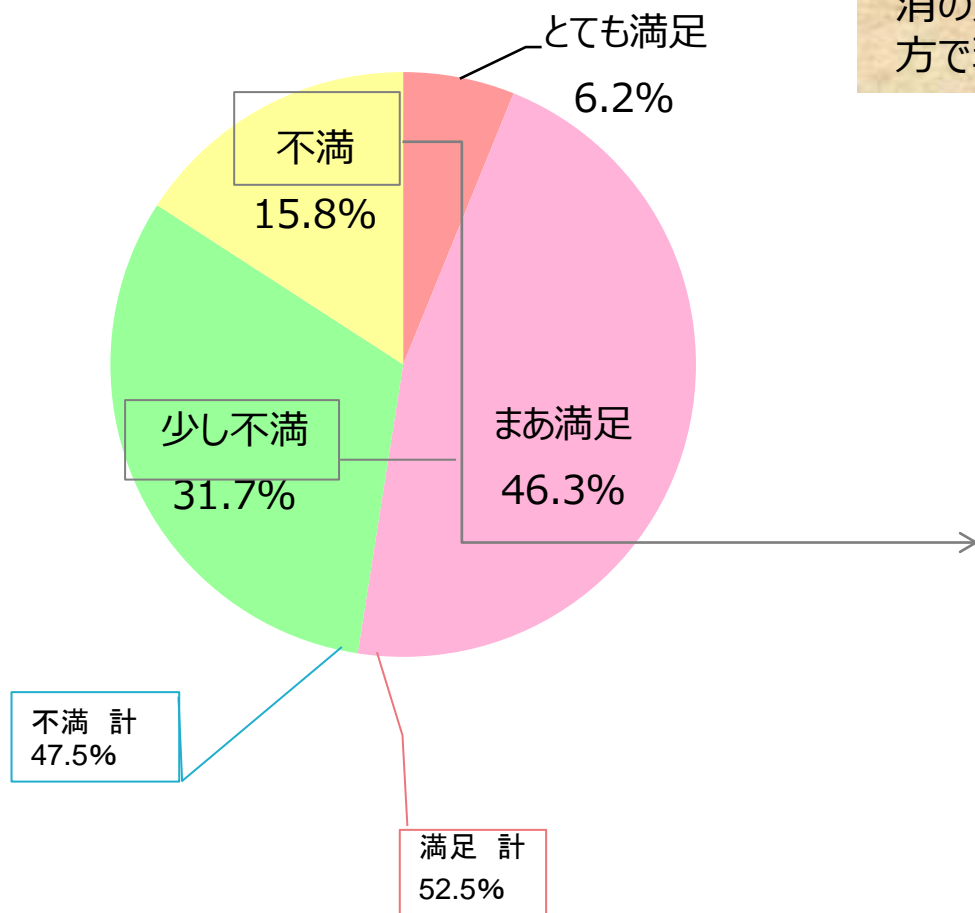
「少し不満」「不満」と答えた人(23.9%)に、どこが不満かを聞いたところ、53.5%が「働く時間が少ない(もっと増やしたい)」と回答。不満を感じている人は、制約のなかで「もっと働きたい」という意欲を持つ人が多い。

不満の理由



N=101

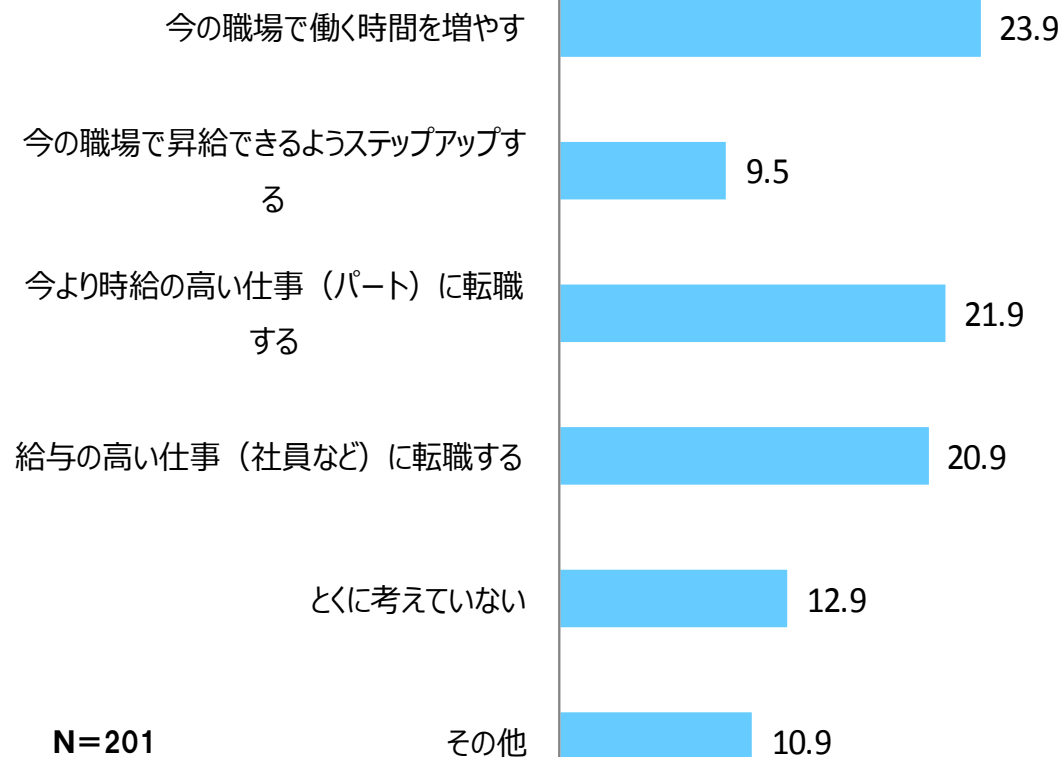
年収についての満足度



年収に関する満足度（「とても満足（6.2%）」+「まあ満足（46.3%）」）が、52.5%と、仕事内容や時間に比べると少ないが、半数以上を占める。

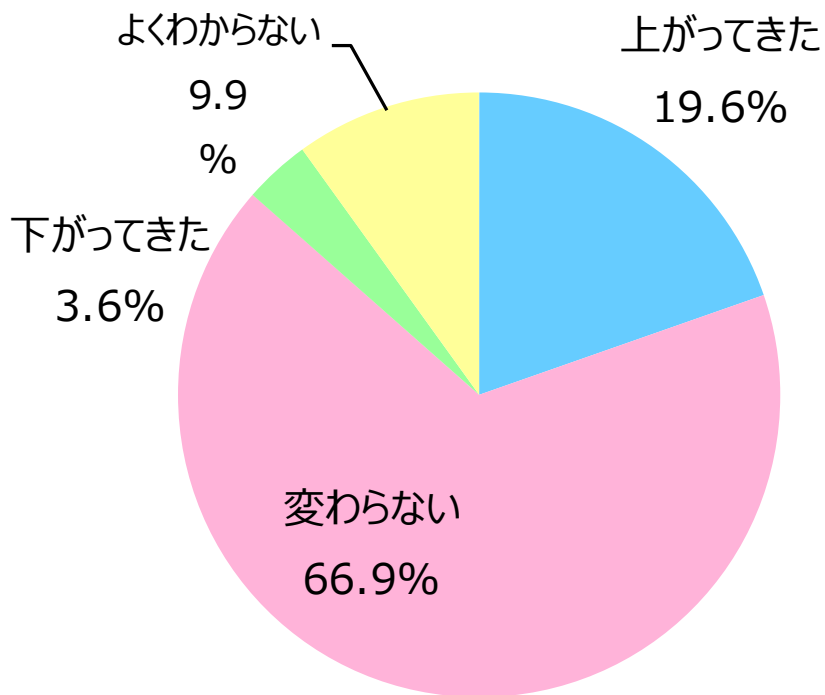
収入に不満（「少し不満」+「不満」）な47.5%の人に、不満解消の方法を聞いたところ「働く時間を増やす（23.9%）」がトップ。一方で現在の「職場でステップアップする」は9.5%と少数。

収入を増やす方法



N=201

時給・待遇は上がったか？

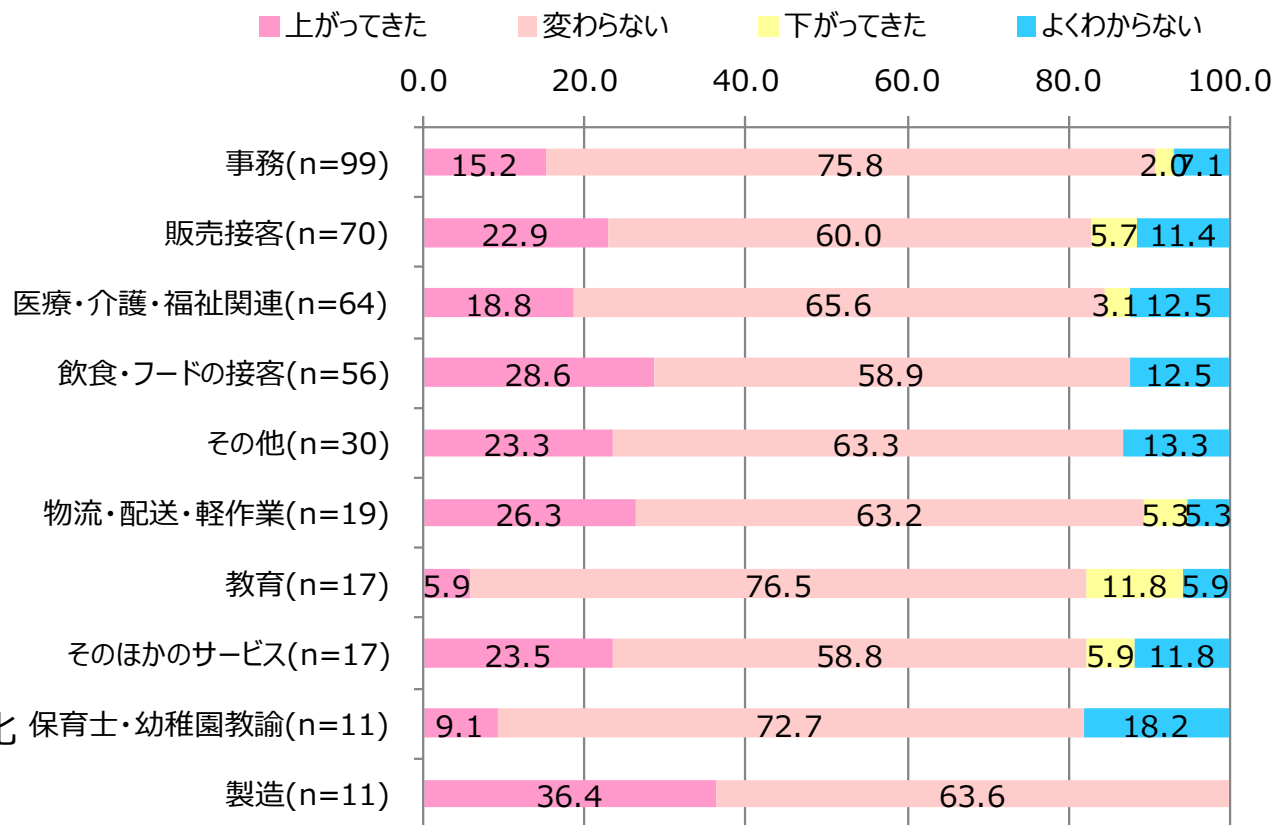


職種別/時給・待遇の変化

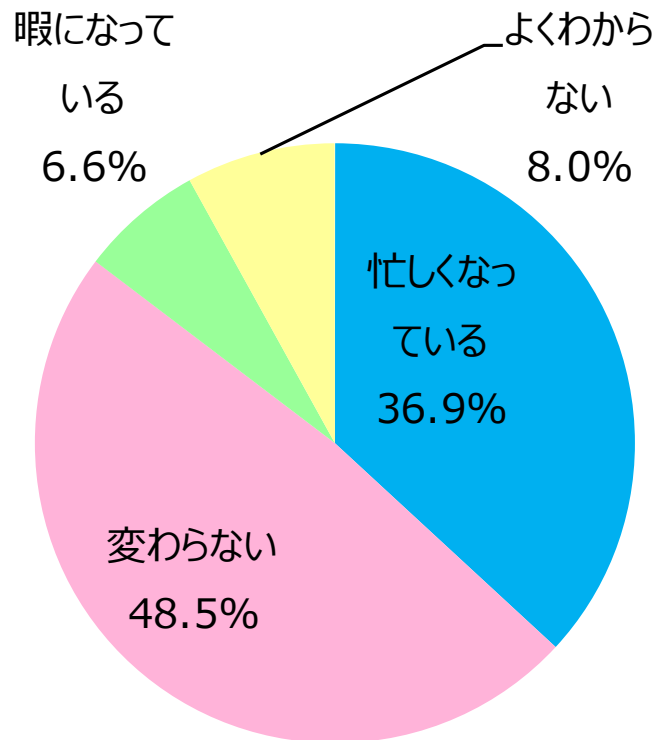
※回答者の多い10職種のみグラフ化 保育士・幼稚園教諭(n=11)

人手不足の影響で、時給水準は上がってきたといわれるが、時給アップを実感しているのは全体の2割にすぎない。

職種で見ると、上がった人が多いのが「製造(36.4%)」、「飲食・フードの接客(28.6%)」、「物流・配送・軽作業(26.3%)」。一方、「保育士・幼稚園教諭(9.1%)」、「教育(5.9%)」は、1割を切っている。



忙しさの変化

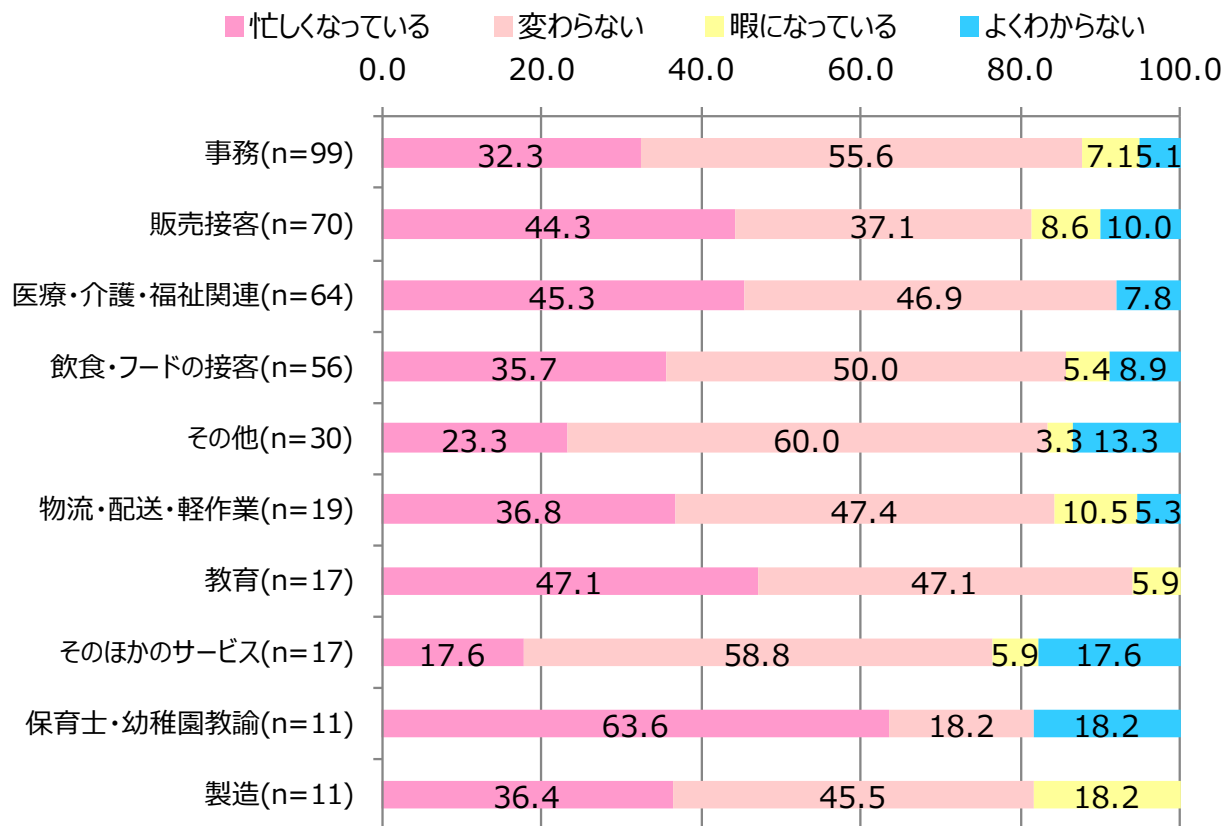


ここ1、2年で、仕事が以前より「忙しくなっている」と感じる人は、全体の36.9%と時給アップより実感している人が多い。

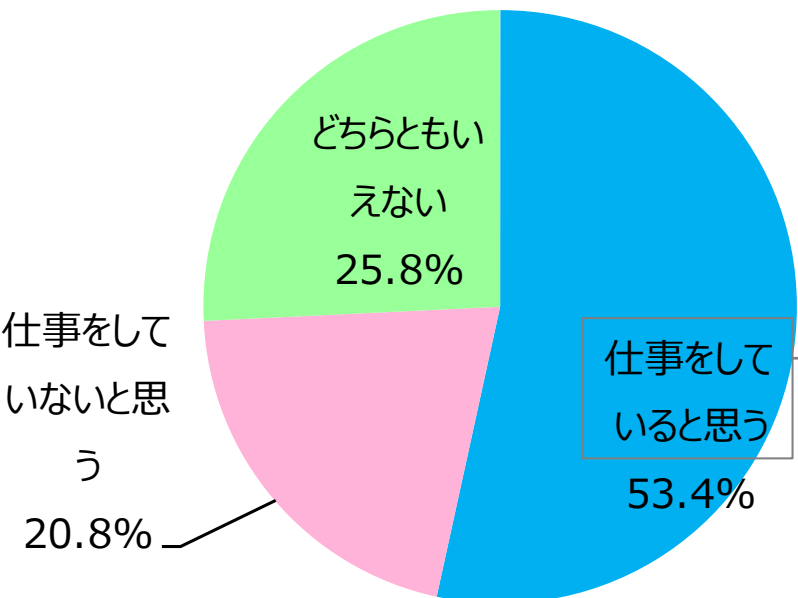
職種では、「保育士・幼稚園教諭」の63.6%が「忙しくなった」と回答しており、特に変化が顕著といえる。「教育（47.1%）」、「医療・介護・福祉（45.3%）」、「販売接客（44.3%）」も忙しくなっていることが目立つ。

職種別/忙しさの変化

※回答者の多い10職種のみグラフ化



10年後も仕事をしているか？

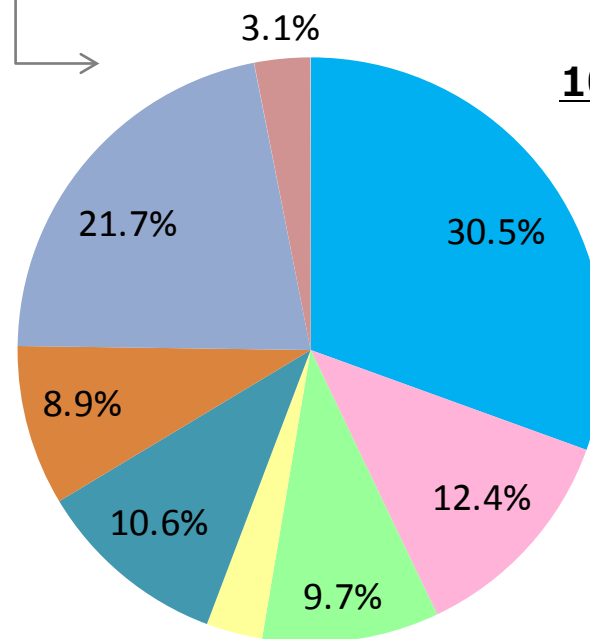


10年後も仕事をしていると思う人は、全体の53.4%と半数以上。

この人たちに、どこでどんな仕事をしていきたいかを聞いたところ、「今の職場で同じ仕事をしたい」という回答が最も多く30.5%。

「ステップアップしたい」「よりゆとりを持って」を合わせると、10年後も同じ職場で働いていきたい人は52.6%にのぼる。

10年後、どこでどう仕事をしていきたいか？



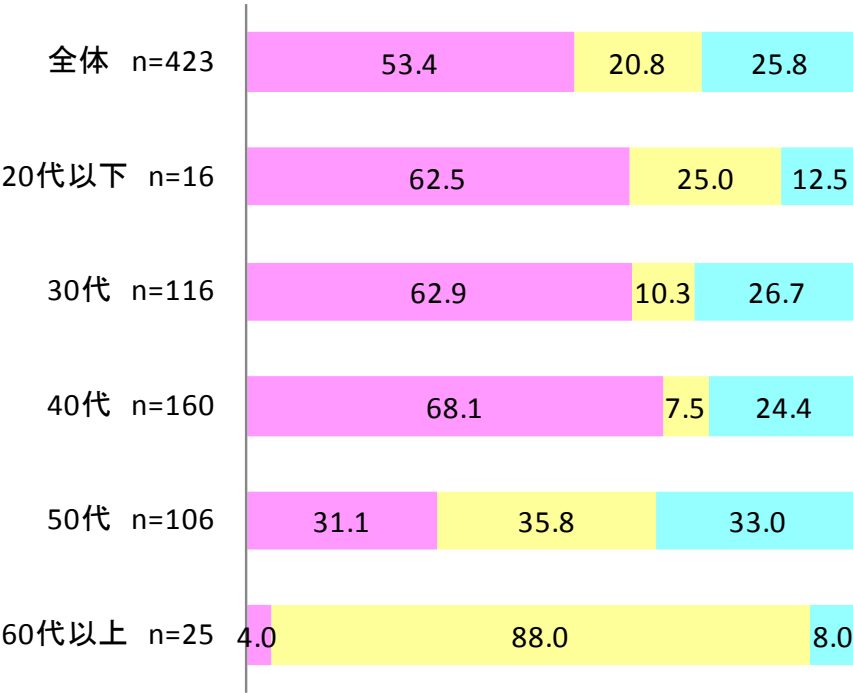
- 今の職場で同じ仕事をしたい
- 今の職場でよりステップアップした仕事をしたい
- 今の職場で今よりゆとりを持って仕事をしたい
- 別の職場で同じ仕事をしたい
- 別の職場で今よりステップアップした仕事をしたい
- 別の職場で今よりゆとりを持って仕事をしたい
- 今とは違う職場で違う仕事・働き方をしたい
- その他

「同じ職場」+「別の職場」で「同じ仕事をしたい」人は33.6%。同様に「ステップアップしたい人」は23.0%。「今よりゆとりを持って仕事をしたい」人は18.6%。

今の職場 計 N=226
52.6%

10年後も仕事をしているか？

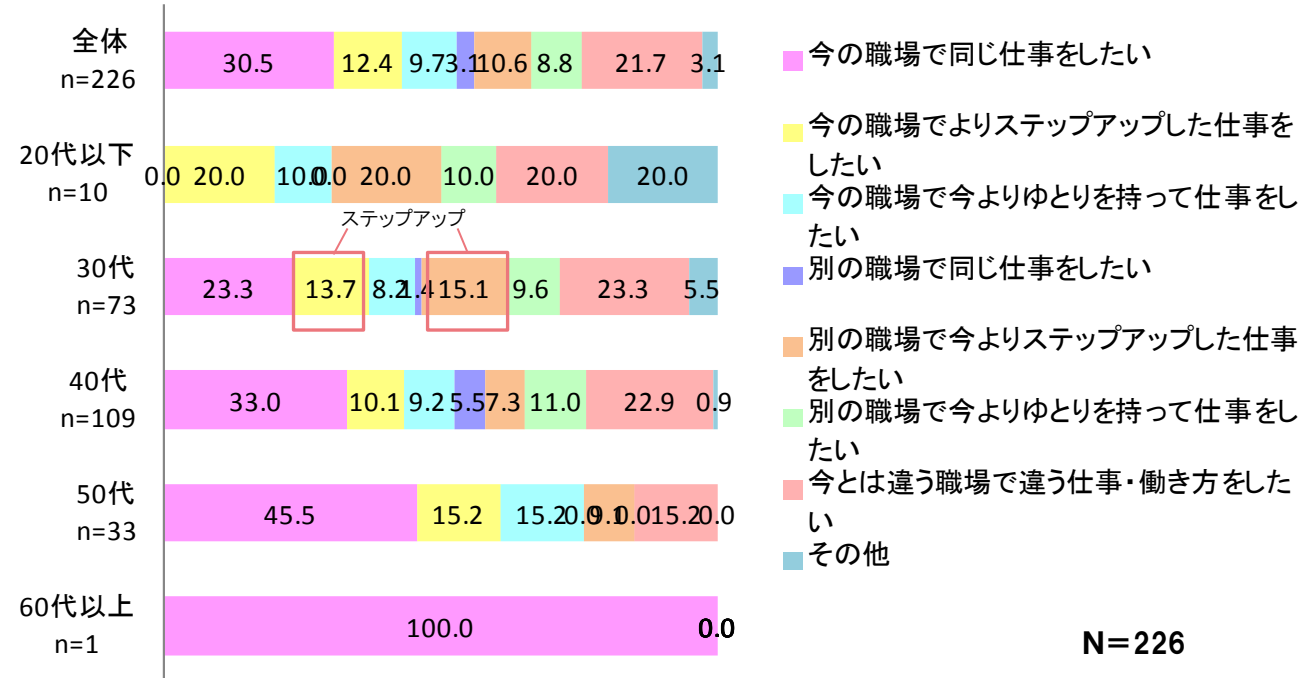
- 仕事をしていると思う
- 仕事をしていないと思う
- どちらともいえない



年代別に見ると、30代・40代では10年後に「仕事をしていないと思う」人は1割程度だが、50代になるとこれが一気に35.8%になり、「仕事をしている（31.1%）」を超えてくる。

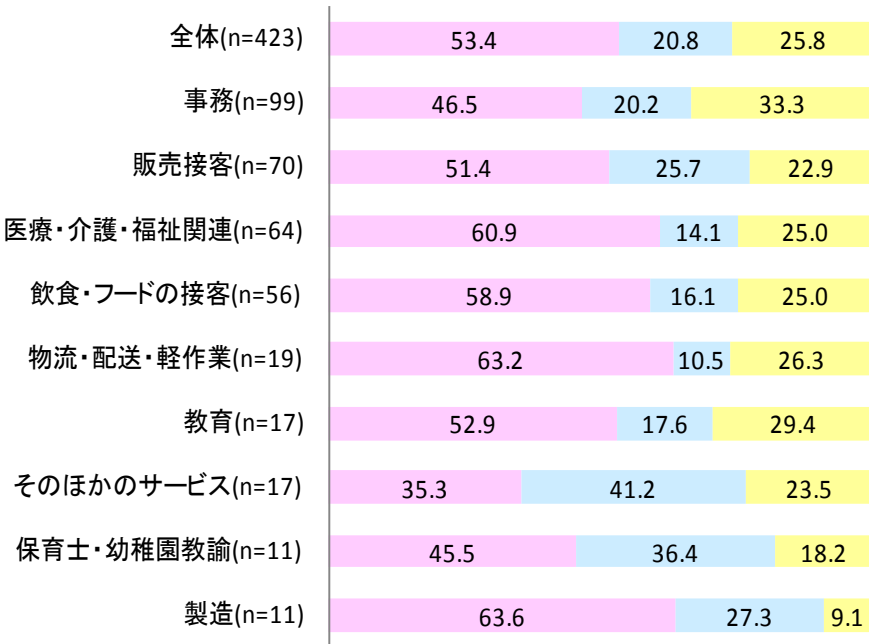
10年後の仕事への希望では、30代は「今の職場・同じ仕事(23.3%)」と「別の職場・違う仕事（23.3%)」、「ステップアップ（同じ職場+別の職場 = 28.8%)」がほぼ拮抗しているが、年代が上がるに従って、「今の職場・同じ仕事」が増えていく傾向がある。

10年後、どこでどう仕事をしていきたいか？



10年後も仕事をしているか？

■ 仕事をしていると思う ■ 仕事をしていないと思う ■ どちらともいえない



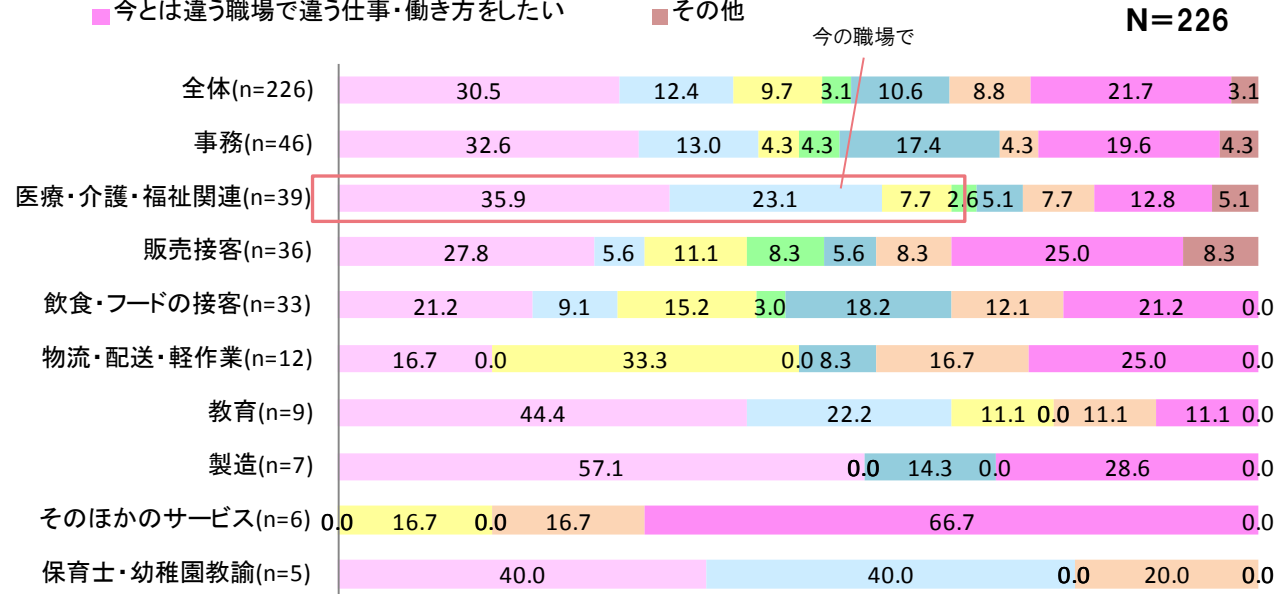
※回答者数の上位10職種のみ

職種別にみると、「製造」「物流・配送・軽作業」「医療・介護・福祉関連」は、6割以上が10年後も「仕事をしている」と考えている。少ないのは「保育士・幼稚園教諭」「事務」で、半数を割る。

「医療・介護…」で働く人は、10年後も「今の職場で」という人が合計で66.7%と特に多く、内訳をみると「ステップアップ (23.1%)」希望が多いのが特徴的。逆に「物流・配送…」は「今の職場でゆとりをもって (33.3%)」が特に多く、ステップアップを望む人はゼロだった。

どこでどう仕事をしていきたいか？

■ 今の職場で同じ仕事をしたい ■ 今の職場でよりステップアップした仕事をしたい
 ■ 今の職場で今よりゆとりを持って仕事をしたい ■ 別の職場で同じ仕事をしたい
 ■ 別の職場で今よりステップアップした仕事をしたい ■ 別の職場で今よりゆとりを持って仕事をしたい
 ■ 今とは違う職場で違う仕事・働き方をしたい ■ その他



年齢	今の職場でよりステップアップした仕事をしたい	業種
29	資格を活かして働く	飲食・フードの接客
31	正規として働きたい	保育士・幼稚園教諭
33	経理事務をしています。税理士の資格を取って、自分だけで役所へ提出する書類を作れるようになりたいです。	IT・情報通信
46	スキルを認めてもらって、より責任ある＆やりがいのある仕事を任せてもらい、それに伴ってお給料も上がっていると嬉しいと思う。	営業
46	介護福祉士になって正社員で働く	医療・介護・福祉関連
50	こどもも自立していると思うのでもっと働く時間を取れると思う。	医療・介護・福祉関連
53	ずっと同じ事をしているので、もう少し計画などに携わりたい。	事務

年齢	今の職場で今よりゆとりを持って仕事をしたい	業種
31	短時間勤務が今と同じように出来ればいいです。子育てや趣味の時間も大事なので	医療・介護・福祉関連
38	自分の身体やライフスタイルに合わせて辛くない程度の働き方	医療・介護・福祉関連
39	金銭的に時間的にゆとりが欲しいですね	飲食・フードの接客
43	心の余裕を持ちたい。忙しいからと言って急な残業や休日出勤が減ってほしい	物流・配送・軽作業
29	もう少し時給があがって周りももう少し動いてくれる	販売接客
43	今は休憩がないシフトなので、休憩が10分とか確保されているといいなと思う。	そのほかのサービス
53	職場が近くなって、力仕事が減ればよい	物流・配送・軽作業

年齢	別の職場で今よりステップアップした仕事をしたい	業種
28	正社員	事務
32	資格を取ったりスキルアップして、それを生かせる職場で働いていたい	事務
34	やったことのない仕事。葬儀社や結婚式場。できれば資格をとり医療事務など。	飲食・フードの接客
36	経理事務経験を生かして、正社員で働きたい。	その他
45	女性が大事にされる職場でやりがいのある職種に就いていたい	事務
51	もう少しやりがいや達成感を感じる事がしたい	飲食・フードの接客
51	接客で人の役に立っていることを実感できる職場	事務

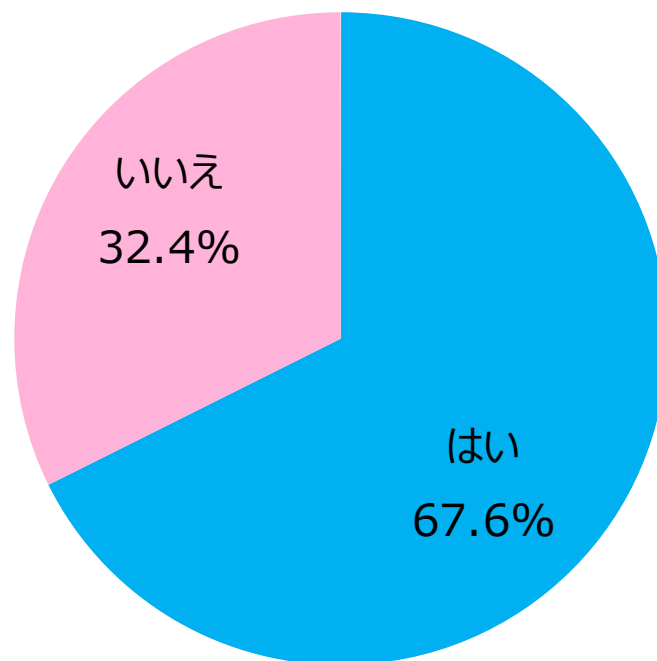
年齢	別の職場で今よりゆとりを持って仕事をしたい	業種
28	飲食店での経験しかないの、違った職種についてみたい！	飲食・フードの接客
34	自分のペースでできる	飲食・フードの接客
32	短時間でクリニック勤務	医療・介護・福祉関連
34	育児に理解のある職場	事務
41	室内で働きたい	その他
46	よい景色のところでのんびりと	飲食・フードの接客
49	職種は同じで人間関係が良い職場が希望。	医療・介護・福祉関連

年齢	別の職場で同じ仕事をしたい	業種
38	パートも昇給やボーナスがある	医療・介護・福祉関連
41	旅行関係の事務職	販売接客
41	ゆとりのある仕事量をこなせる仕事に就きたい	事務
43	今の仕事は好きだけど他の店で働きたいと思います。	販売接客
45	風通しのいい職場	事務

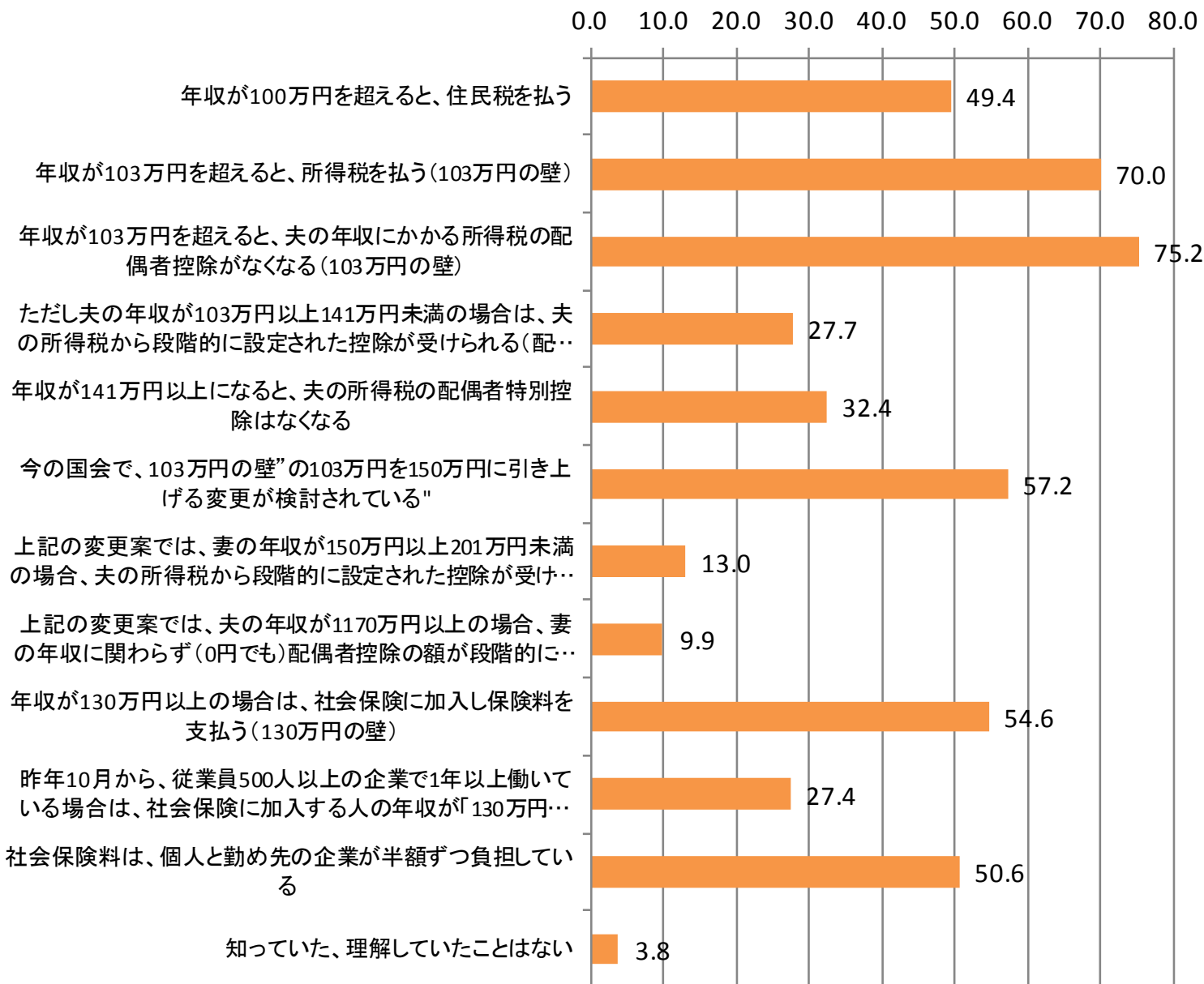
年齢	別の職場で今とは違う仕事をしたい	業種
34	大きなオフィスで事務員をやりたい。	事務
34	子供も大きくなっているのでフルタイムの仕事をしたい。	販売接客
39	小児病院で看護がしたい。ホスピス病棟で看護師がしたい。	医療・介護・福祉関連
39	10年後には子供に手がかからなくなっている反面、学費などお金がかかるので、出来れば正社員として働いていたいと思います。	その他
43	栄養士免許があるので、資格を生かして働きたいのと、もっと時間も増やしたい	製造
43	独立して動物カウンセラーになってる	レジャー・エンタメ・宿泊
44	独身時代の職種で、時間は抑えて働きたい	事務
44	専門職でパート	物流・配送・軽作業
49	地域の人とつながれるような職場で、ゆとりを持って長く働きたい。	医療・介護・福祉関連
50	アロマセラピスト	事務
59	自分の強みを生かせる、また地域活性化に役立つようなことを仕事としたい	事務

今回の調査では、パートタイマーのうちの67.6%が、社会保障や税の“扶養の範囲”を意識して働いている

103万円の壁・130万円の壁を意識して働いているか？



103万円の壁・130万円の壁について知っていること



最も認知が高かったのは「103万円の壁」の、夫の所得税の配偶者控除（75.2%）と自身の所得税（70.0%）。

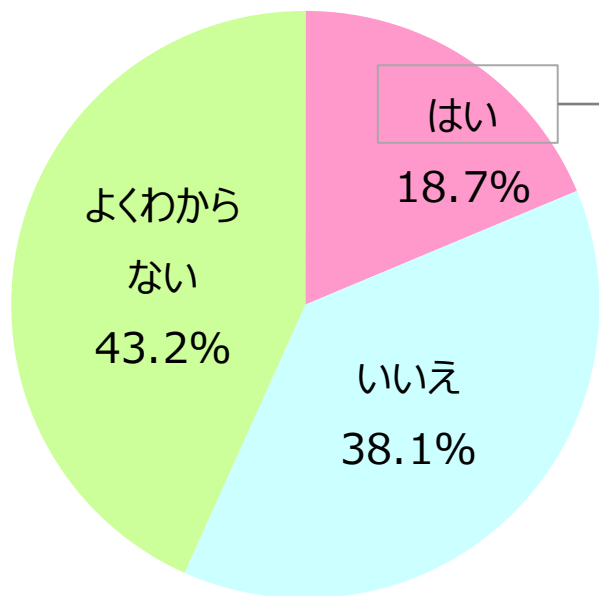
現行制度であっても、103万円～141万円の配偶者特別控除の認知は、3割前後と低い。

社会保険の「130万円の壁」は、103万円未満で働いている人には該当しないせいか、認知率は54.6%とやや低め。

今検討されている配偶者控除の「150万円」への引き上げについては、57.2%が「知っている」と回答。

また、昨年10月からの社会保険の適用範囲の拡大（130万円の壁の引き下げ）を知っている人は、27.4%と3分の1以下だった。

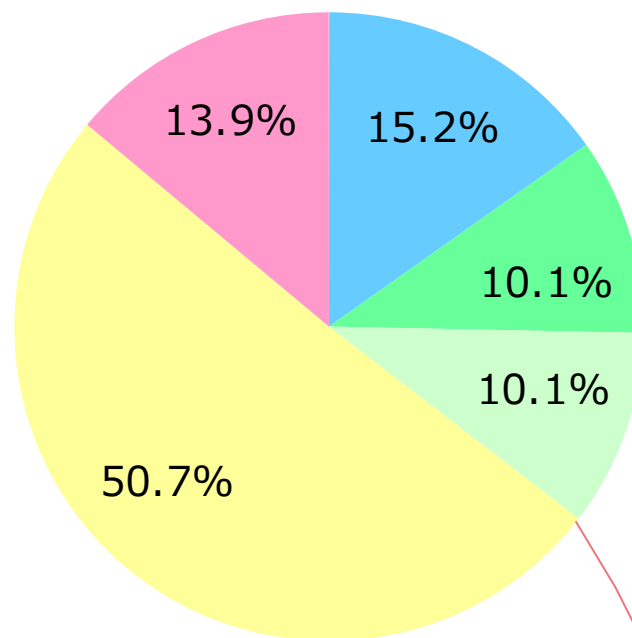
**社会保険の適用範囲拡大に
勤め先は該当するか？**



昨年10月からの「社会保険の適用範囲の拡大」に、勤め先が該当すると答えた人は18.7%。

勤め先が該当し、影響があった人は35.4%、社会保険料を払い始めた人は20.2%。「仕事はそのまま」「社保料をカバーするため仕事を増やした」が各10.1%。一方で、社保料を払わないよう仕事を減らした人も15.2%いた。

**130万円が106万円に
下がった影響は？**



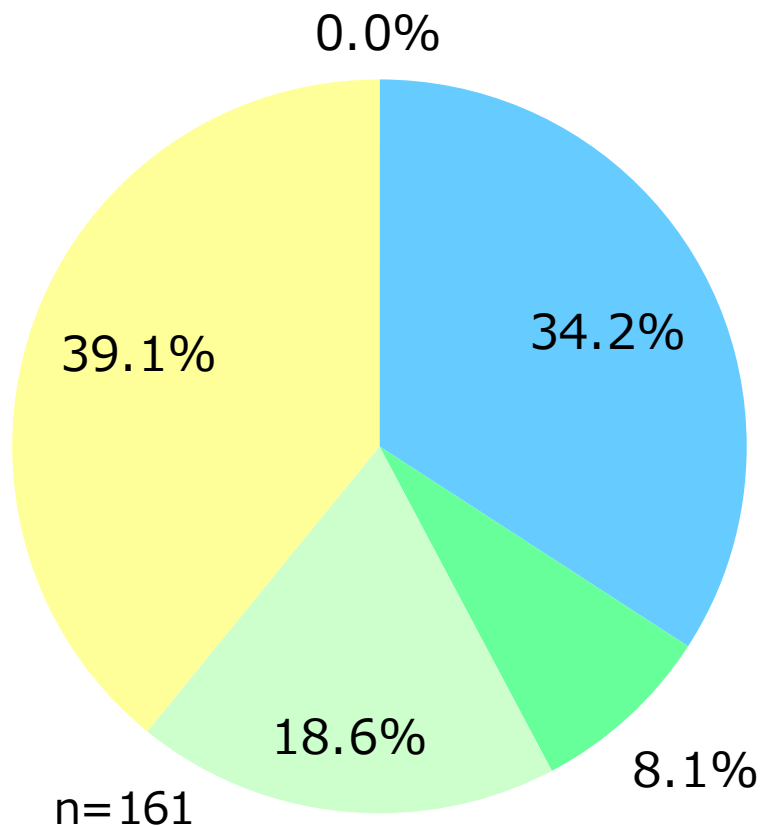
- 社会保険料を払わなくてすむように、働く時間を減らした
- 働く時間は変えないで、社会保険料を払い始めた
- 社会保険料を払っても手取りが減らないように、より多く働くことにした
- もともと106万円以内で働いていたので影響はない

■ その他

影響あり 計35.4%

n=79

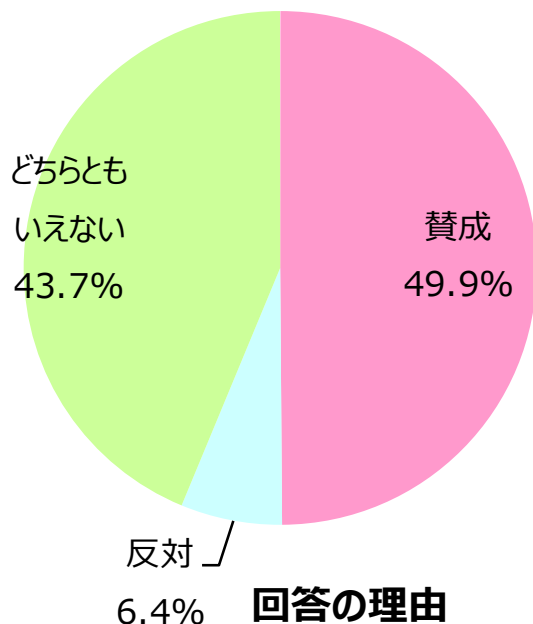
あなたの会社も『130万円の壁』の
130万円が106万円に下がったら



社会保険の適用範囲の拡大に該当しない企業で働く人が対象。130万円の壁が106万円に下がることになったらどうするか？という質問に、34.2%が「働く時間を減らす」、18.6%が「より多く働く」と回答。「働く時間は変えずに社会保険料を払う」という人は8.1%と少数。

- 社会保険料を払わなくて済むように、働く時間を減らす
- 働く時間は変えないで、社会保険料を払う
- 社会保険料を払っても手取りが減らないように、より多く働く
- もともとの収入が少ないので該当せず影響はないと思う
- その他

『103万円の壁』 150万円への引き上げ案に

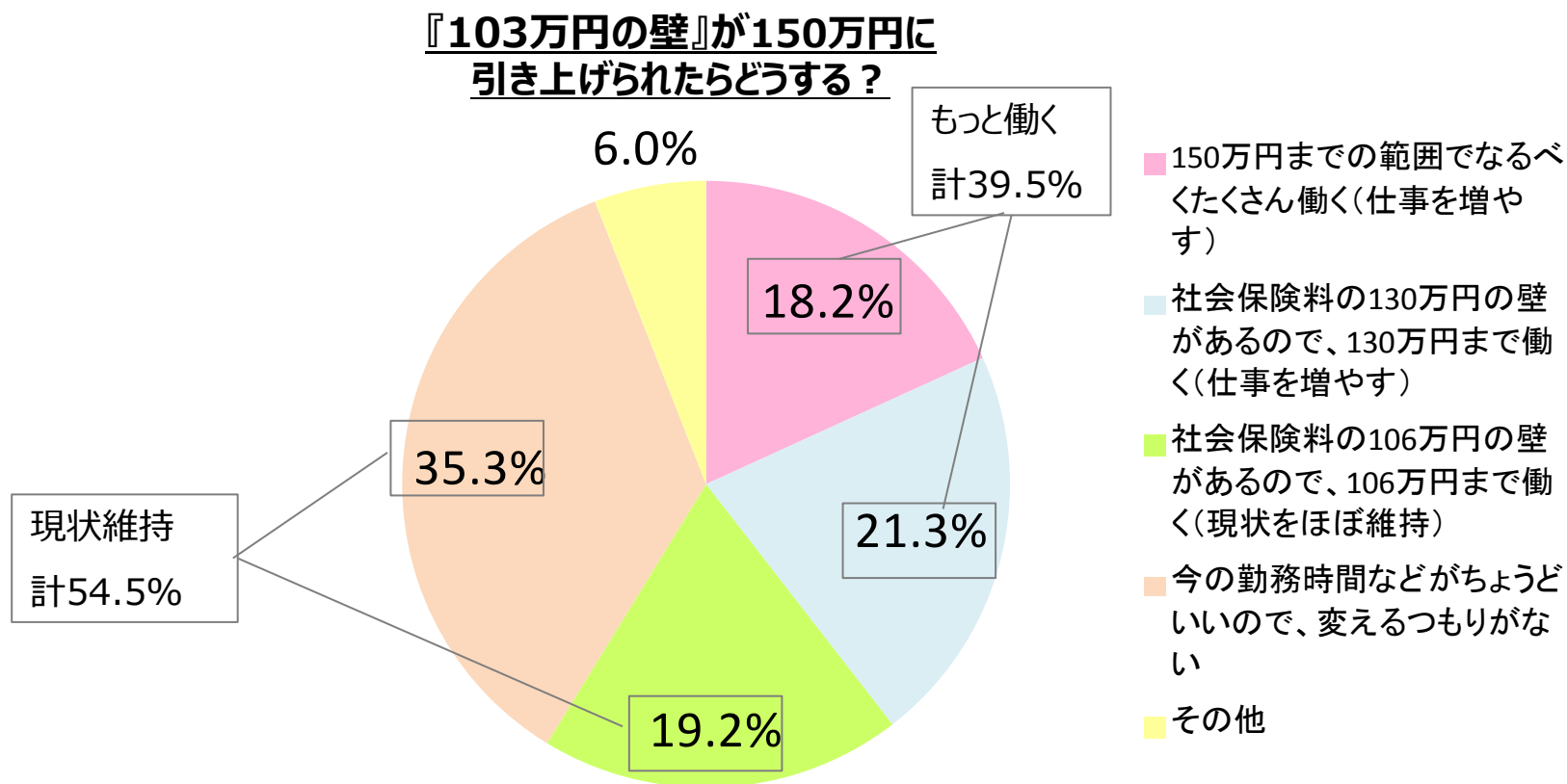


2017年の通常国会で検討されている、「103万円の壁」の150万円への引き上げについては、「賛成」がほぼ5割。ついで「どちらともいえない」が43.7%。

年齢	反対	昨年の年収
38	130万106万の壁とセットで考えてほしい 103万の壁だけを引き上げても働く時間を増やそうと思わない	90万円以上110万円未満
43	150万まで働くということは正直、家事と仕事の両立が難しいと思う。150万まで働けるなら勤務時間を延ばしたくなくても会社からは「150万まで働いてほしい」と言われる確率が高く、19時までの勤務になりそう。そうなると帰宅後の家事や育児で自分の時間がなくストレスもたまりそう	90万円以上110万円未満
48	配偶者控除自体がなくなるべき。	190万円以上
51	以前の対応に賛成、非課税枠が広がるなんておかしい！	190万円以上
51	基本的に男性が外で働き、女性は家庭を守る方が良いと思っているので。最近では外で働いていないと社会的貢献度が低いように言われますが、子育ても立派な社会的貢献であると思います。	90万円以上110万円未満
58	配偶者控除は廃止して、全て平等に税金を納める形にしてほしい。	190万円以上
69	年収減り年金が減収になるのが心配。	90万円以上110万円未満

年齢	どちらともいえない	昨年の年収
37	主人の会社からの配偶者手当が103万以内なので、結局103万以内で働く方が楽なので。	90万円以上110万円未満
39	社会保険の130万の壁がどうなるか分からないのでまだ賛成とまではいけません。	30万円未満
44	税法上の扶養の上限だけが上がっても、健康保険や年金などの130万円の壁は残っているし、夫の勤務先の扶養手当や公営住宅の配偶者所得の上限も連動して150万円に引き上げられるのかが不透明で、自分にとってのメリットがあるとは限らないので。	90万円以上110万円未満
46	収入は増やしたい気持はあるが、労働日数、時間が増え過ぎる(シフトが増え過ぎる)のはキツイので。	70万円以上90万円未満
46	そんなに働きたくない	90万円以上110万円未満
49	社会保険の方も同時に上がらないと働く時間は伸びない	90万円以上110万円未満
50	私はあまりたくさん働きたくないのでたくさん働きたい方はいい待遇になればいいと思っています。人それぞれ働き方には違いがあるのでどちらともいえないにしました。	90万円以上110万円未満
50	一長一短だと思うので、明確にどちらかが良いとは言い切れない	70万円以上90万円未満
55	個人的には歓迎だが、その不足する税収が他で増税になるかもしれないから	90万円以上110万円未満

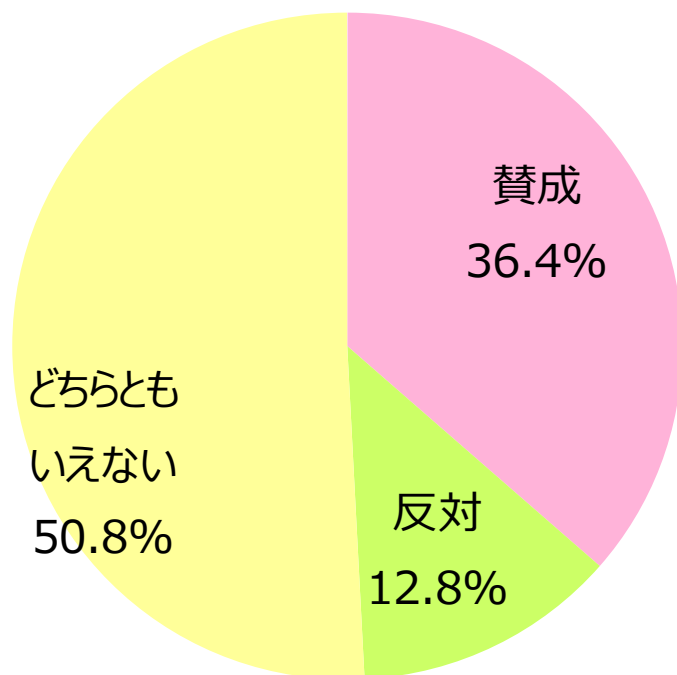
年齢	賛成	昨年の年収
32	夫の扶養に入ったまま、もっと働くことができるから。	30万円以上50万円未満
38	今まではたくさん働くことと損をする感覚だったが、引き上げられると、働き損にならない気がする。	50万円以上70万円未満
38	150万ならフルタイムで働くのではなくパートのままで、家事と両立しながら仕事を増やしたい	90万円以上110万円未満
42	金額の設定が上がる事で！もっとたくさん働きたい主婦の方が長い時間働けるので。	30万円未満
46	月80,000円に抑えるより、月120,000円くらい安心して働きたいから。	90万円以上110万円未満
48	家庭を持ち、家庭を守ることを尊重する社会であってほしい。家にいる大人全員が、早朝から深夜まで働いて荒れる子供達や、介護を受けられず施設に入居することもできないお年寄りを見て来たので。	30万円未満
54	103万は少なすぎて稼ぎたいのに無理して働かないようにする事は意味がない。	130万円以上150万円未満
54	どうせ社会保険を払わなくては行けなくなるんだっとなら少しだけでもたくさん稼ぎたいけど出来れば住民税など今は払っているので控除を受けられればその分手取りは保険料を払ってもそこまで減らないかなとも思うので	110万円以上130万円未満



103万円の壁が150万円まで引き上げられたらどうするか？最も多かったのは、「今の勤務時間などがちょうどいいので、変えるつもりはない」で35.3%。106万円未満で働くという19.2%まで含め、54.5%が現状維持を指向。

一方「130万円まで働きたい」は21.3%、「150万円まで」という人は18.2%。計約4割がもっと働きたいと回答した。

夫が高収入の場合、配偶者控除に制限がかかる改正案について



今国会で検討されている改正では、夫の年収が1170万円以上の場合、妻の年収に関係なく、夫の所得税の配偶者控除の額が段階的に下がることも盛り込まれている。

このことに対して、「賛成」が36.4%、「反対」が12.8%。最も多かったのは「どちらともいえない」で50.8%だった。

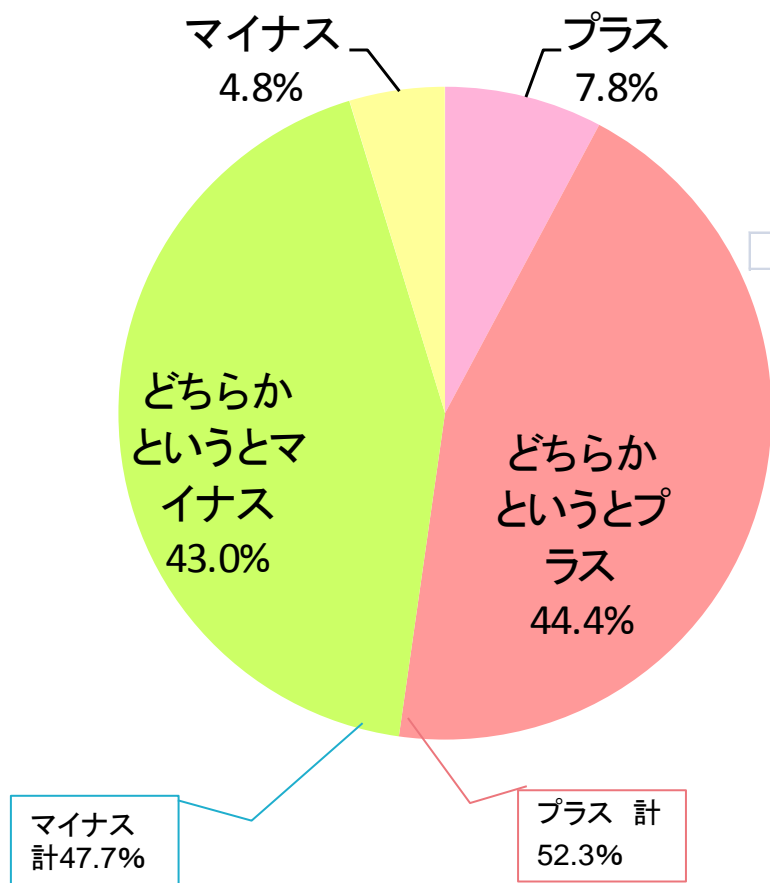
回答の理由

年齢	賛成
22	金持ちに控除など不要
39	そのぐらい年収のある家庭では、ほとんど影響のないことだと思うので。
47	収入がしっかりあるのなら配偶者控除は必要ないと思うから
50	高所得層に控除の必要はないから

年齢	反対
38	所得税払うのが嫌
43	1000以上ももらっているんだからもっと厳しくてもいいと思う。
46	年収一千万の家庭が何%あるのか？無意味な所得制限。年収600万くらいから制限をかけていいと思う。
48	配偶者控除は年収にかかわらずなくすべき
48	高所得者は元々税金をいっぱい払っているから。
52	夫の収入で夫の税金も増えていくので、控除の分は平等であってほしい。
53	家事も労働だと思ってるから。控除は欲しい。

年齢	どちらともいえない
34	我が家とはかけ離れた年収での話なので、つつい考えなくなる。
36	夫の年収は絶対そこにはいかないけど、良いのか悪いのかは分からない
43	我が家には関係ない
46	年収1000万越える家庭は少ないと思うのでもっと上限を低くしてほしい。
54	抱えている家族や状況がそれぞれだから、判断は難しい。

パートという呼称のイメージ

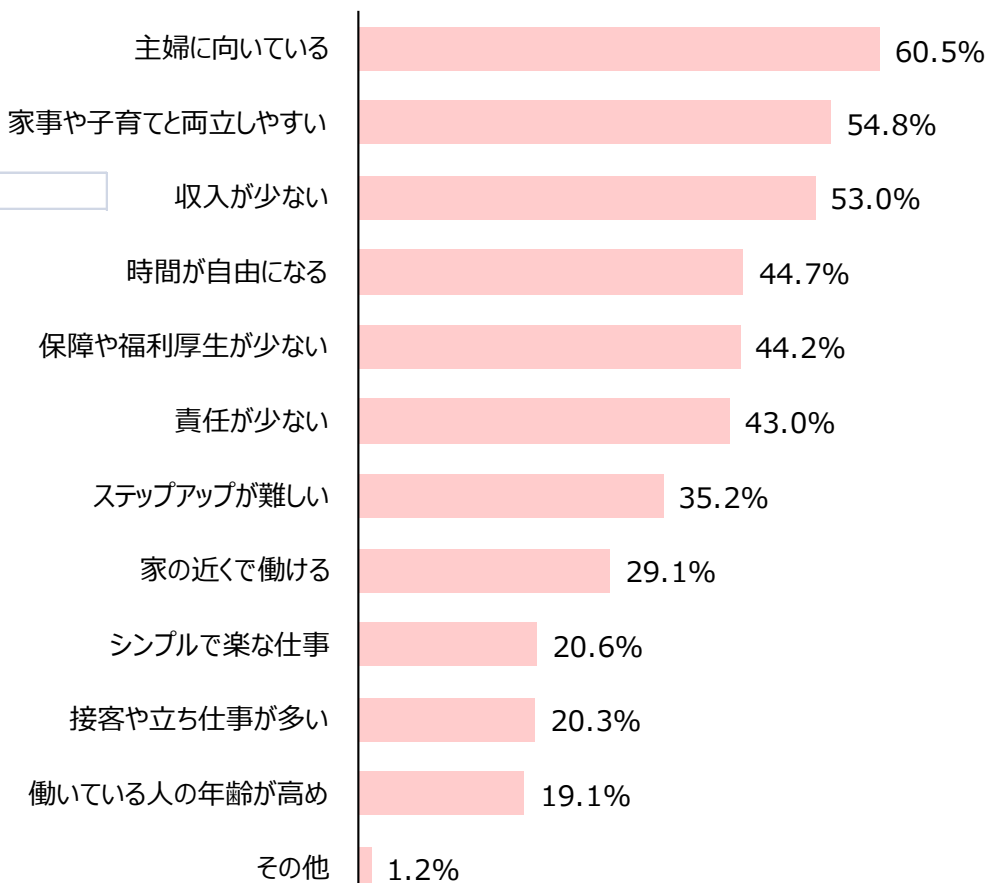


「パート」という呼ばれ方のイメージでは、プラスとマイナスが拮抗した。

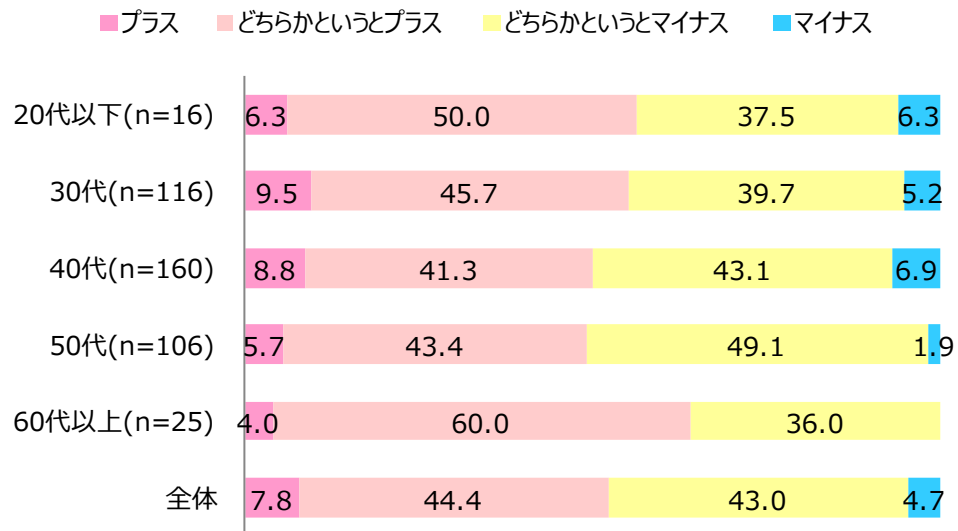
プラスの具体的なイメージは、「主婦に向いている」60.5%、「家事や子育てと両立しやすい」54.8%、「時間が自由になる」44.7%など。マイナスイメージでは、「収入が少ない」53.0%、「保障や福利厚生が少ない」44.2%、「ステップアップが難しい」35.2%など。

パートの具体的なイメージ

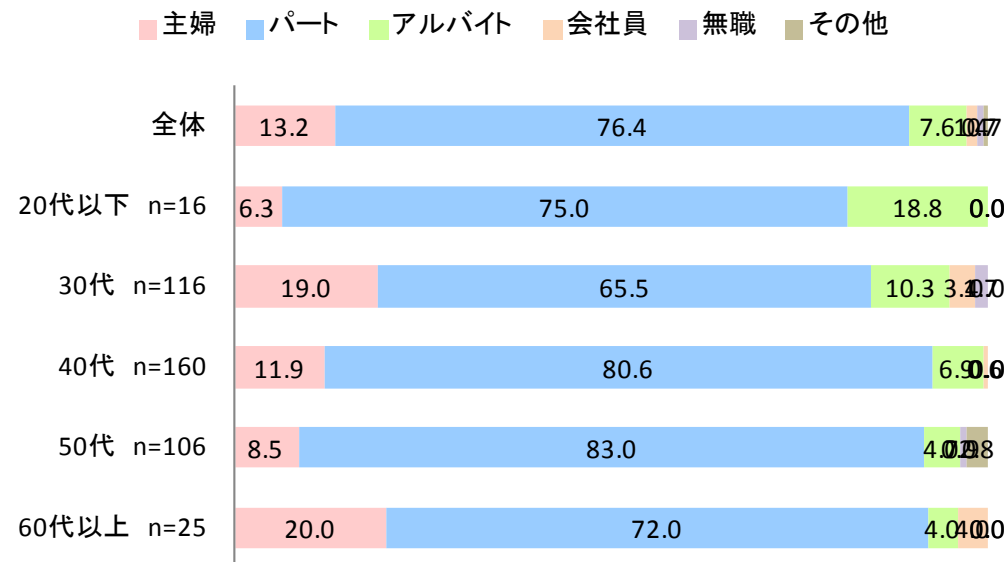
複数回答



年代別 パートという呼称のイメージ



職業欄に書くのはどれ？



パートのイメージのプラス・マイナスを年代別にみると、30代では「プラス+どちらかというプラス」が55.2%。

これに対し、40代は50.1%、50代は49.1%。若い年代のほうがプラスのイメージを持つ人が多い。

一方で、アンケート等で職業欄に書くことが多い名称を選択肢で聞いた。

全体では76.4%の人が「パート」と記入。30代は、ほかの世代に比べ「パート」と書く人が少なく65.5%、「主婦」と書く人が19.0%と多い。40代、50代と年代が上がるに従い、「主婦」が減り、「パート」と書く人が増える傾向にある。